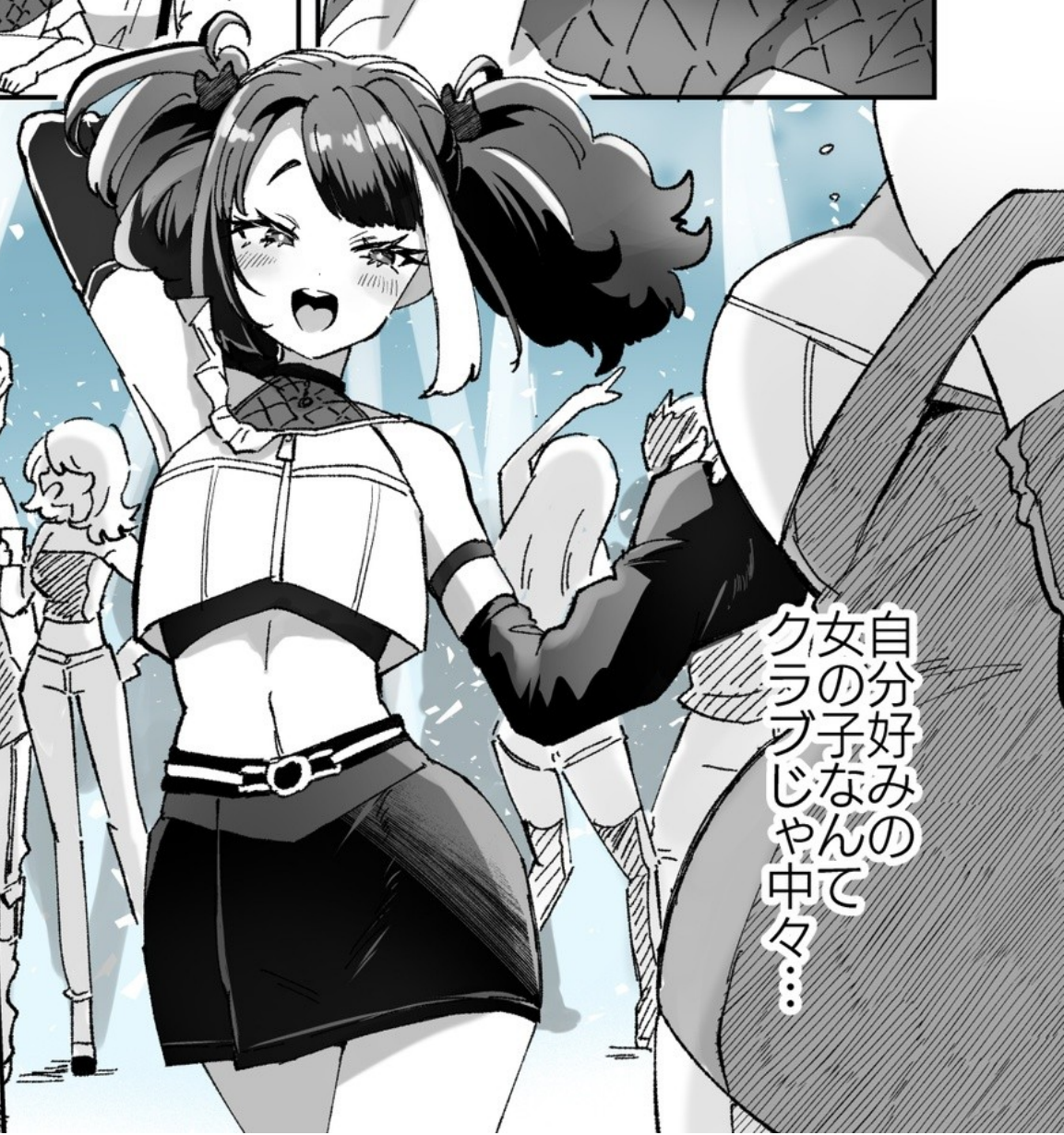




自分好みの
女の子なんて
クラブじゃ中々...

ぶはっ五十嵐
おまえ：
ダメだろ！

あんな本当に
はげしい！

何も言っ
ないけど？

箱に居る時点で
未成年ではないだろ

俺もパース
色気が足りない
かなあ？

はあ
まったく…



MEN

いつもアイツ等の
調子に合わせて
やっつてんだ
人の好みにまで
文句言ってくるじゃ
ねー！

イライライライラ

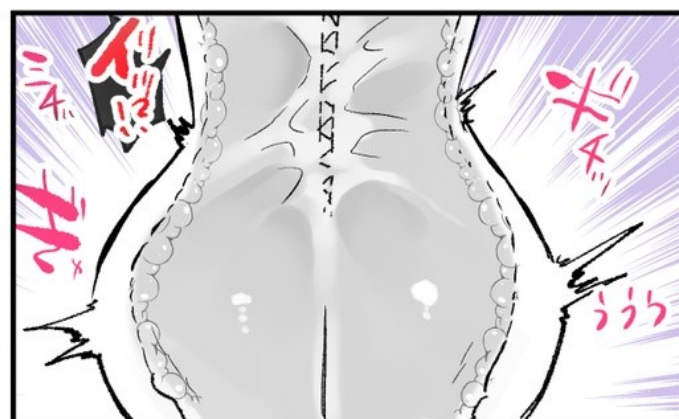
何ならもう少し
小さくてもいい

小さくて可愛い
神なんだよ！
色気？！尊い魅力に
気づけてないなんて
可哀想な奴らだ！

だあよねえ
お兄さんに同意見！

ムムム！







うう…ッ

ふっ…

おおろ！
意識がある！

ふっ…

スキン改良
成功かな？

すいぶん縮んだ
ねっ！！

支配人に
伝えないと！



おかしいな…
急に酔ったみたいに
視界が変な感じだ！

ッ！！

ぐわっ

まっ…
くる…しっ



…って
ありや！

ほらほら
こっちきて！

変化の瞬間を
楽しんでこそ…

声が思い通り
だせな…



ぐわっ

あらもうイッた？
俺らを虜にするんじゃ
なかったの？

て…手慣れて
やがる…

何かいけない事
してる気分だけど…
ちよつと上がるかも

本当に二十歳
超えてんの？

い…今から
反撃するもん

意識を取り戻した後
この姿に確信を
覚えた俺は

へ…？
じゃあ期待
しちゃおうかな

予定通り
二人に冗談半分で
声をかけた

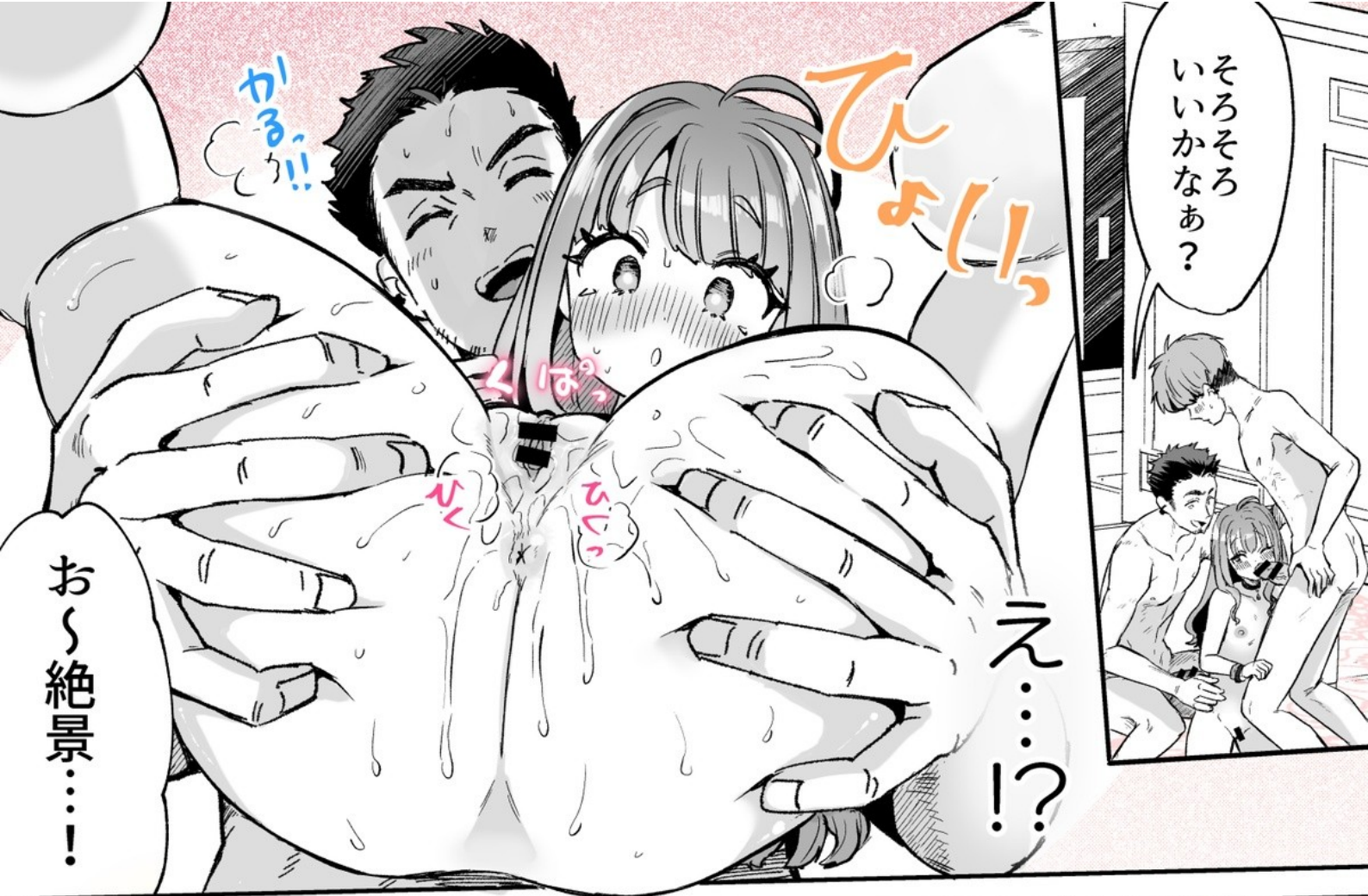
色気がないとか
言ってるわいとか
簡単にホテルに
ついてくるなんて…

俺は…どこまで
演じてしまっただ

(じょうず)
りょーゆ
れふかあ？

あ…小さい舌で先
ペロペロされんの

くすぐった
気持ちいい…



そろそろ
いいかなあ？



おゝ絶景…！

え…！？



こーんな
小さい穴に
入るかなあ…？



ひにゃッ！？



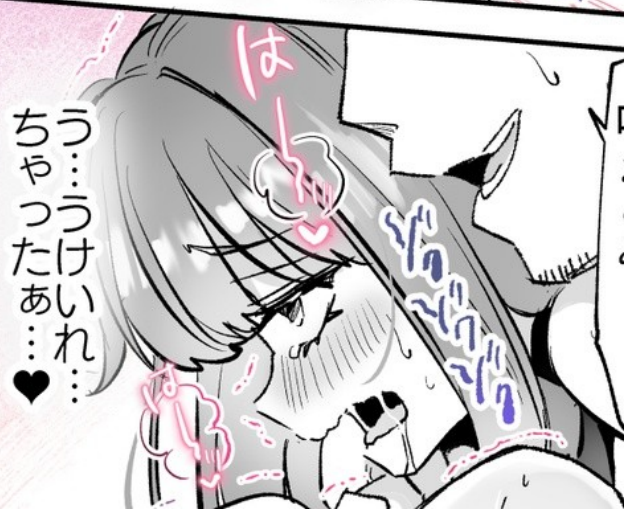
どうしょ…
流石にもうっ
打ち明けないと

あゝつでもでも
この姿でこんな
体験ッ…！

おっ
おっ

我慢できなくて
泡たてちゃってる
じゃらん

見た目に反して
すごい
唾えこみ…ッ！

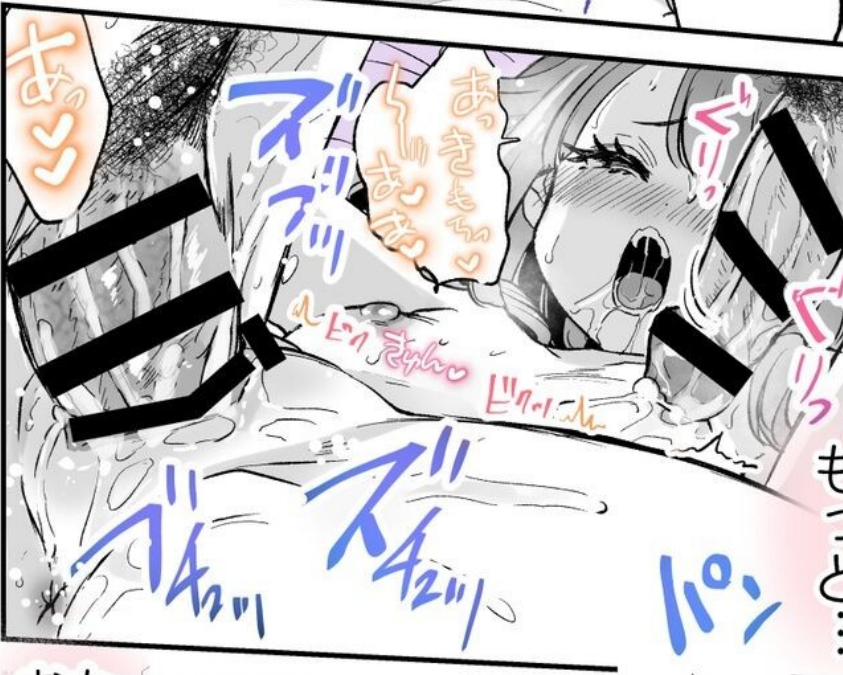


う…うけいれ…
ちやっただあ…♡

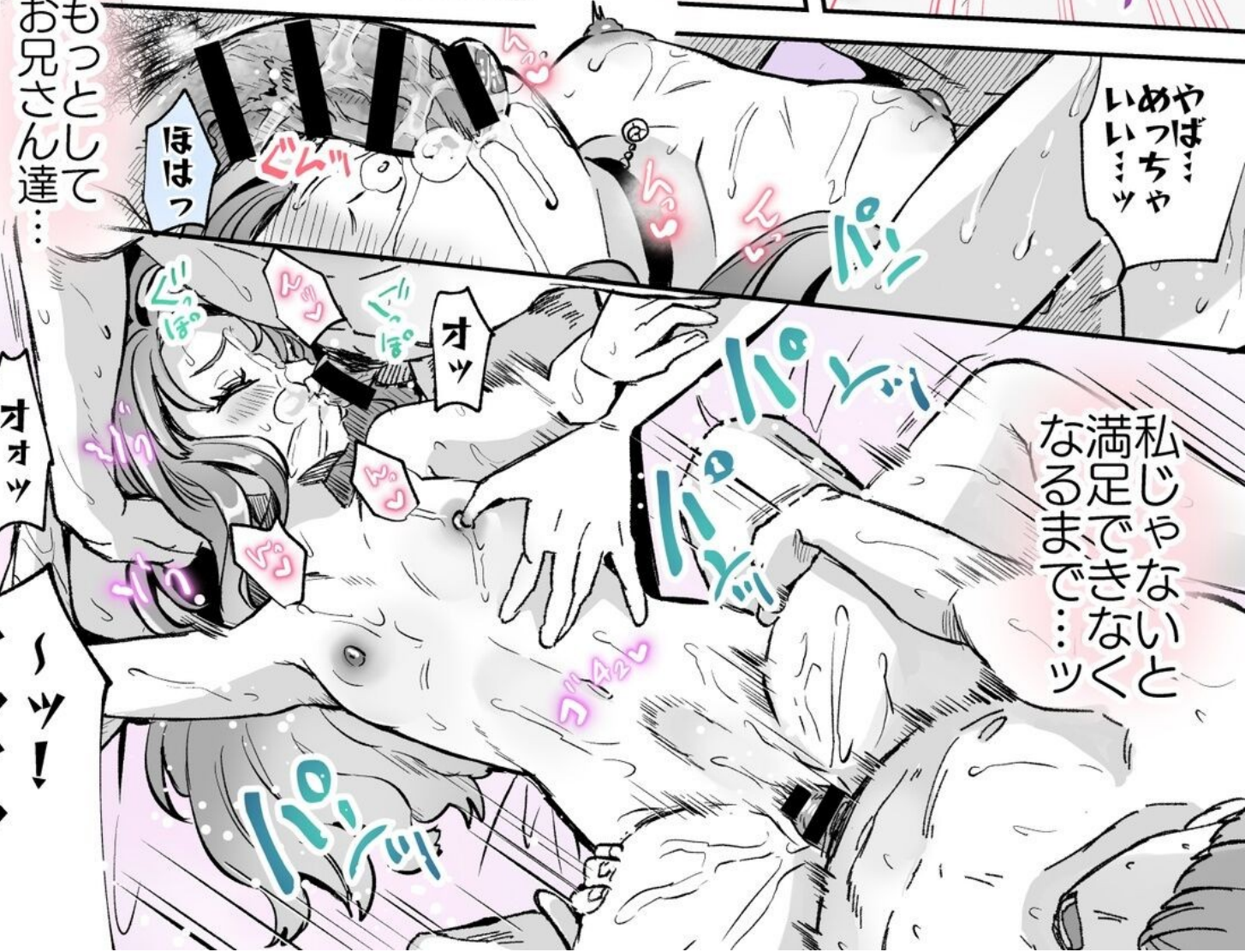
出る!!



まだ
足りない
よ



もっ...



いめやば
い...
ッや

私じやないと
満足できなく
なるまで...
ッ

もっとして
お兄さん達...

ほはっ

オッ

オオッ

ッ!
イクイク!





お待ちしてましたよ!

あはっやっぱり
見込み通りだった



こっ…
こんにちわあ…



ああっこんな小さくて
可愛い力ノジヨが
小さいお手でで高速
エロ手コキミツ!

いつきちゃんミツ
最高ッ!!

どうしよ
また色んなお兄さん達
虜にしちゃったかな?

でも安心してね!
『わたし』なら安心安全
えっちしほーだいだよ♥

SKINLOVER

「五憶樹」

